

武庫川流域委員長
松本 誠 様

- 1 ダム放流量についての資料請求
- 2 千莉ダムについての意見書

平成18年5月10日
委員 谷田百合子

1. 資料請求

青野ダムについて、

昭和62年のダム運用開始以来、20年間にゲート操作を必要とした「洪水」について日時、降雨量、水位、ゲート操作と放流量、事前放流の有無千莉ダムについて同時、同じ資料を請求いたします。

2. 千莉ダムの洪水調節の為のゲート改築は「整備計画」に入れること

千莉ダムは集水面積94.5km²で、武庫川流域の約1/5を占める最大の利水ダムで放流量は非常に大きい。(第40回流域委員会資料2-5では1/100で550m³/s)平成16年23号台風での最大放流量は536m³/sにも達した。この放流により直下に位置する「千莉浄水場」付近の民家は床上浸水し、浄水場もかなりの被害が発生した。また、付近の護岸も損壊が起こった。電力の加わった「水」が一時に一ヶ所に集まって放流される時の「ダム水害」もこのようなものだと思われる。

一方、ゲートを持つ青野ダムでは、集水面積は千莉ダムの1/2強ですか、1/100で85m³/sと1/6になっている。また550という放流量は新規ダムの調節量にも匹敵する。千莉ダムは築後80年以上経過し近い将来改修が必要と考えられる。

「整備計画」に新規ダムを入れるより前に、千莉ダムの改築をすべきとかがえる。

以上